10月号 (9月30日発行)



サンホセ 日本人学校 ←フォロワー 130 人突破!

「キャリア教育と進路

~在外教育施設から~」

サンホセ日本人学校 校長 半山章人

コスタリカの「デポルティーボ・サプリサ」でサッカーをしている越島杏佳さんが来校され、サッカーの楽しさを体験をとおして教えていただくともに、自分の今までの経歴などについてお話してくださいました。越島さんは、高校では親元を離れ国内の女子サッカーの強豪校でプレー(2年時インターハイ2位、3年時選手権2位)をし、アメリカの大学に進学しました。9月入学だったため、その間フィリピンの語学学校で英語漬けの日々を通して、英会話を身につけたそうです。アメリカへは『サッカーをしたい、英語を話したい』という夢をもって、サッカーだけでなく勉学にも力を入れました。サッカーでは様々な国から選手が集まり、体格では劣るものの、ドリブルなどの技術を生かした



【越島さんにサッカー指導を受ける】

そうです。また、現在はスペイン語の習得のために、積極的にチームメートと話すことを心がけているそうです。 間違いや失敗を恐れないその姿勢が、今の越島さんを築いているように感じました。最後の生徒代表のあいさつの 中で、「日本人学校では部活動がないので、この時間をとても楽しみにしていました。」と子どもたちにとっても 貴重な体験ができたようです。

先日、在コスタリカ日本国大使館から、本校卒業生の T さんの活躍を連絡していただきました。それは、今年の9月3日~7日の間、パナマのムリーノ大統領ご一行が日本に来日し、首脳会談や万博に参加するなどの日程の中で T さんは在京パナマ大使館として同行し、岩屋外務大臣とマルティネス外務大臣との外相会談では、アシスタントとしてご活躍されたそうです。 T さんは世界を舞台に、日本語とスペイン語を活かした仕事をしています。

海外で活躍している日本人や本校の卒業生から、『在外教育施設で学ぶことは大変なこともありますが、チャンスも与えてくれています』と報告を受けています。世界には約4万人(2023年調査小中児童生徒数)もの子どもたちが在外教育施設(日本人学校・補習授業校)で学んでいます。そして2023年度には約1万人の帰国児童生徒がいました。そのような子どもたちのために日本国内において中学受験や高校受験の際に、推薦入試や一般入試とは別に帰国子女枠で受験という入試制度があります。受験できる条件としては、①「すでに海外と日本国内合わせて9か年の学校教育課程を修了している。」②「海外の学校に継続または通算して在籍した年数が一定以上あり、帰国日から受験する日までの年数が経過していないこと。」試験科目は、都道府県、学校毎に異なります。詳しくは、先生方に質問したり、私立中・高校であれば各学校、公立であれば都道府県教育委員会に確認してください。サンホセ日本人学校を中学部3年(小学部6年)修了して日本に帰国してもコスタリカで一定以上の期間を過ごしていれば、帰国子女枠で高校受験(もしくは中学受験)ができます。



【職員研修 浄水場】



【前期 お誕生日会】



【小6 図書の紹介】

••



【和太鼓練習】



【持久走記録会】

【10月の行事予定】

1日(水) 集金日 中間テスト

第51回開校記念講演会 八木 哲夫様

2日(木) アスンシオン交流授業(オンライン) 小学 6 年、中学部

3日(金) ブリジストン会社訪問(6年・中学部)

8日(水) ボゴタ交流授業(オンライン) 小学2年

20日(月) アスンシオン交流授業(オンライン)小学6年 委員会活動

21日(火) サンアンソニー校との交流(サンアンソニー校訪問)

23日(木) 特色ある在外教育活動支援実証事業講演会藤田 大輔 先生(オソライソ)

24日(金) クラブ活動

28日(火) サンアンソニー校との交流(サンホセ日本人学校来校)